

藤 収 建 第 2 2 3 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

秋田県山本郡藤里町長 石 岡 鍊一郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付 国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

秋田県藤里町

① 秋田県における道路の整備は、高速道路はじめ県道・町村道等、全国平均に比べて遅れている状況にあつて、早期整備が重要な課題となっています。遅れている道路整備を計画的に推進できるよう要望します。

② 住民の生活基盤である町村道は、定期的な維持管理が欠かせない状況にあります。日常を支える生活道路を計画的に維持修繕できるよう適切な制度を講ずることを要望します。

③ 白神山地の山麓を形成する当町の国有林に開設された林道は、平成5年に白神山地が世界遺産に登録されたことから、森林とのふれあいを求める人々の利用が増大しております。

特に世界自然遺産地域内の素波里ダムの源流部である小岳周辺のほか、ブナ原生林や湿原の高山植物群落を観察できる、岳岱自然観察教育林や田苗代湿原、更には優れた景観を有する駒ヶ岳には、年間約2万人が全国各地から訪れております。また、一部定期観光バス路線になっております。

しかしながら、これに通じる国有林道は毎年のように路肩決壊や法面崩落が発生し、町民はもとより全国の自然愛好家からも、早期の抜本改良を求められております。

本路線は、我が国が世界に誇る「白神山地」周辺へのアクセス道路として、極めて重要な路線であることから、安全の確保、危険箇所解消等、路線の改良整備を早期に実施されるよう強く要望いたします。

④ 高速道路は有料道路であるならば、少なくとも片側二車線道路を計画していただけるよう要望いたします。夏場はともかく冬場の対面通行は対向車が怖くて利用する気になれないのが実情です。

⑤ 前項が無理ならば片側一車線道路については、I.Cの乗降口以外にも譲り合い区間を増やしていただけるよう要望いたします。

⑥ I.Cの看板等の地名は、文字数の関係から簡略されてる場合があるが、来訪者は観光での目的も多いためできるだけ正確に表現していただけるよう提案いたします。*例：昭和・男鹿I.C→昭和・男鹿半島I.C、二ツ井・白神I.C→二ツ井・白神山地I.C